

三小だより

2月号

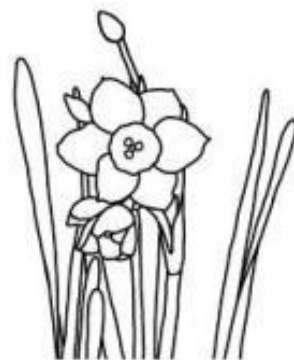
学年の総仕上げの時期です

校長 藤本 賀津雄

職員室の外側にある花壇の水仙が花をつけ始めました。厳しい寒さは続いていますが、確実に春は近付いています。ついこの間学校が再開したところだと思ったのに、もう一月は終わってしまいました。1月は「いぬ」2月は「逃げる」3月は「去る」と言いますが、今の学年もあっという間に過ぎ去ってしまいます。

特に6年生の人たちは卒業まであっという間です。小学校生活最後の締めくくりをしっかりとしてほしいと思います。

「終わり良ければすべて良し」という言葉がありますが、この時期が一番大切です。小学校生活が輝かしい思い出になるように、すべてのものに「ありがとう」の感謝をしながら過ごしてほしいと思います。たとえば、この6年間お世話になったいろいろな先生方に感謝、一緒に楽しく過ごした仲間へ感謝、生活の舞台となった校舎や校庭に感謝、保護者の方や陰から応援してくれた地域の方々に感謝等々、自分がお世話になってきたすべてのものに感謝の気持ちを伝えて卒業してほしいと思います。「ありがとう」の気持ちの伝え方はいろいろありますが、自分なりの伝え方で伝えてほしいと思います。



さて、1年生から5年生の子どもたちは、今の学年のまとめや総仕上げをしてください。特に学習のまとめはきちんとしてほしいと思います。たとえば、九九を習う学年では九九を、都道府県を習う学年では都道府県名を覚えていますか。その学年で習った漢字は読み書きできますか。このように、今の学年で身につけなければならない学習内容はもう定着しているか振り返って、できていなければ頑張って復習しておいてください。定着しないまま次の学年に持ち越さないように頑張ってほしいと思います。

校門の桜の木は、まだ花も葉っぱも付けていませんが、木の中では春の到来を待って、花を咲かせる準備をしています。卒業生も在校生も、新しい学年を迎える前にきちんと準備をしておいてください。そうすれば桜の花のようにきっと素晴らしいスタートが切れると思います。ご家庭におきまして、このまとめの時期に子どもたちが課題に対して頑張って取り組めるように励ましてやってください。

季節がらインフルエンザやノロウィルスなどが心配されますが、手洗いやうがいをごまめにするとともに、寒さに負けない適度な運動と睡眠をしっかりとって、ご家族みんなが健康で有意義な年度末を過ごされますようお願いしています。